

よくある質問について（博士課程前期課程入試）

神戸大学大学院国際協力研究科

博士課程前期課程志願者からよくある質問をまとめました。

■ 入学時期について

Q1 募集期が第Ⅰ期、第Ⅱ期とありますが、それぞれ入学時期が異なるのでしょうか。

A1 第Ⅰ期、第Ⅱ期とも、受験した翌年度の4月入学です。

2018年度学生募集要項により受験・合格した方は、いずれも、2018（平成30）年4月入学となります。

■ 出願資格審査について

Q2 国際協力研究科に出願するためには、出願資格審査を受けなければならないのですか。

A2 ほとんどの志願者は、出願資格審査を受ける必要はありません（日本の大学を卒業した方〈見込みを含む〉、外国において16年の課程を修了した方〈見込みを含む〉などは、出願資格審査を受ける必要はありません。）。

学生募集要項 P1 にも記載しておりますように、出願資格審査を受ける必要があるのは、出願資格（9）の方のみです。

■ 出願書類について

Q3 入学願書、受験票・写真票の「年度」の欄は、何年度と書けばよいのですか。

A3 入学予定の年度を記入してください。たとえば、2018年4月入学の場合は、2018年度になります。

Q4 志望理由書, 推薦書 (注・社会人特別入試のみ) について, WORD 等の電子ファイルを提供してもらえますか。

A4 出願書類について, いずれも電子ファイルでの提供はしていません。

Q5 志望理由書様式に印刷したものを貼りつける場合, 枠内に収まらないときは, どうすればよろしいですか。

A5 印刷した別紙をクリップ留めで付けた上で, 様式には「別紙のとおり」と明記してください。(のりづけ, ホッチキス留めは必要ありません。)

Q6 学士学位証明書とは何ですか。

A6 学生募集要項 P3 にも記載しておりますように, 大学卒業のみでは学士号を取得できない国 (中国等) の大学出身者のみ提出が必要な書類です。日本の大学を卒業した方 (見込みを含む) については, 提出の必要はありません。

Q7 推薦書について, どのような立場の方に作成してもらうべきですか。

A7 入学志願者の「社会経験及び能力」「学業及び研究能力」について, 各 1 名の推薦者に記入・作成してもらってください。

「社会経験及び能力」についてよく把握されている方であれば, 職場の責任者や上司の方でなくてもかまいません。

「学業及び研究能力」についてよく把握されている方であれば, 出身大学の学部長や指導教員の方でなくてもかまいません。

Q8 推薦書について、記入項目2については「ワープロ打ちし、貼付してもよい」と記載されていますが、記入項目1についてもそのようにしても良いですか。

A8 そのようにしていただいてもかまいません。

Q9 外国語（英語）受験免除申請のため、受験した外部英語試験の公式スコア票が手元に届くのが出願期間最終日より後なのですが、公式スコア票のみ、それ以降に提出しても受理されますか。

A9 出願期間最終日より後に届いたものについては、受理することはできません。

Q10 外国語（英語）受験免除申請のため、外部英語試験の公式スコア票を提出したいのですが、公式スコア票の送付は、実施機関から受験先（国際協力研究科）への直接送付になると、当該機関から聞きました。それでもよろしいでしょうか。

A10 出願期間内（必着）に届けば、入学願書と公式スコア票が別々に届いても受理します。ただしその場合は、入学願書を発送する際に、公式スコア票の提出が別便になる旨を書いたメモを同封してください。

Q11 TOEFL-iBT（又は TOEFL-PBT）の公式スコア票を、実施機関から受験先（国際協力研究科）へ直接送付する際に必要な、DI Code と Department Code を教えてください。

A11 DI Code は 3341, Department Code は 80 です。